

カキ生育情報

千葉県
平成28年9月号

平成28年8月の気象

平成28年8月の半旬別の気象を表1に記した。平均気温は第3半旬を除く5半旬で平年より高かった。月平均気温は26.0℃で、平年より0.1℃、前年より0.3℃高かった。

降水量は第2、第3及び第6半旬で平年を下回り、第2及び第3半旬には降雨がなかった。第1、第4及び第5半旬は平年を上回った。月合計は232mmで、平年の171%、前年の129%であった。

日照時間は、第2半旬を除く5半旬で平年を下回った。月合計は169時間で平年の78%、前年の86%であった。

台風9号が8月22日に館山市付近から上陸し、農作物や園芸施設等に大きな被害が生じた。また、7号及び10号が銚子沖を通過したが、直接の影響はなかった。

表1 平成28年8月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	26.1	26.0	27.9	20	18	0	31	36	58
2	27.2	26.2	27.1	0	26	0	42	36	53
3	25.0	26.3	27.1	0	25	7	29	35	39
4	26.4	26.0	25.8	75	18	98	11	35	6
5	26.1	25.8	24.7	130	17	20	18	35	32
6	25.4	25.3	22.2	7	31	56	38	40	9
平均/計	26.0	25.9	25.7	232	136	180	169	217	197

果実の発育

8月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は、「西村早生」及び「松本早生富有」では2地区の平均でみるとそれぞれ6.49cm、6.46cm、「富有」では6.69cmであった。本年の横径は、「西村早生」では平年より4%大きく、前年より1%小さかった。「松本早生富有」は平年より5%大きく、前年とほぼ同じであった。「富有」では平年より4%、前年より10%大きかった。

縦径は、「西村早生」と「松本早生富有」では2地区の平均でみるとそれぞれ4.83cm、4.88cm、「富有」は4.99cmであった。本年の縦径は、「西村早生」は平年より5%大きく、前年と同じであった。「松本早生富有」では平年より8%、前年より1%大きかった。「富有」では平年より1%、前年より6%大きかった。

果形指数は、「西村早生」及び「松本早生富有」では2地区の平均でみるとそれぞれ1.34、1.33、「富有」では1.34であった。本年の果形指数は「西村早生」と「松本早生富有」は平年より小さくやや縦長の傾向であり、「富有」は平年より大きくやや横長の傾向であった。

果実の生育は順調で、「西村早生」の収穫期は平年とほぼ同様に9月中旬から10月上中旬までと予想される。

表2 果実の発育（8月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	6.20	6.17	6.37	4.77	4.59	4.77	1.30	1.35	1.34
	暖地園研	6.77	6.28	6.76	4.89	4.59	4.88	1.38	1.37	1.39
	平 均	6.49	6.22	6.57	4.83	4.59	4.83	1.34	1.36	1.36
松本早生 富有	市原市	6.30	6.07	6.44	4.86	4.36	4.84	1.30	1.40	1.33
	暖地園研	6.62	6.29	6.51	4.89	4.67	4.84	1.35	1.35	1.35
	平 均	6.46	6.18	6.48	4.88	4.51	4.84	1.33	1.37	1.34
富有	暖地園研	6.69	6.41	6.10	4.99	4.92	4.70	1.34	1.30	1.30

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2015年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2015年の平均

9～10月の作業

収 穫

「西村早生」の収穫が始まり、いよいよ収穫シーズンの到来である。カキの果実は樹上で成熟しながら大きくなり、収穫後に品質が向上することはない。早採りすれば、大きさ、品質の面で適熟の果実より劣り、消費者にカキ本来の味を提供できなくなる。したがって、早採りは避け、収穫前にはカラーチャートを用いて果皮色を確認し、適熟果の収穫に努める。適熟の色はへた部の果皮色で判断し、「西村早生」、「富有」はへた部 4、「松本早生富有」はへた部 4.5 を目安にする。「西村早生」では、渋果の混入を防ぐため、必ず渋果判定機による選別を行う。

追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育と着花量を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。「西村早生」などの早生品種では収穫直後の10月中旬頃、「松本早生富有」、「富有」及び「次郎」などの中晩生品種では着色初期となる10月中下旬頃を目安に、速効性肥料で施用する。窒素の成分量で、年間施肥量の15%程度となる2～3kg/10aが適当である。

病虫害防除

9月上旬～中旬にカキノヘタムシガ、コナカイガラムシ類を防除するため、バンド誘殺を行う。カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。炭疽病又はうどんこ病の発生が多い園では、9月下旬までが防除適期である。防除の際には、早生品種と中晩生品種の混植園では収穫前使用日数に十分注意する。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>